

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		2019年 7月 17日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区梅田2丁目5-25ハービスOSAKAオフィスタワー22階		氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） グンゼ(株) 代表取締役社長 廣地 厚

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	グンゼ(株)宮津工場
導入年月日	2001年 07月 06日
認証番号	JQA-EM1658
基本方針	(1) 地球温暖化防止のため、製造設備等のエネルギーの使用効率を向上させ、省エネルギーを推進します。 (2) 資源の有効活用を図るため、繊維屑などの廃棄物発生量の低減と、発生した廃棄物の再使用・再資源化を推進します。 (3) 物流に関わる搬送・資材材のロス削減に取り組みます。 (4) 天橋立周辺環境を守ると共に、廃水処理管理の充実を図ります。 (5) 教育及び地域とのコミュニケーション活動を通じて構成員の環境意識向上と環境保全活動に取り組みます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) CO2排出量を 4,199.7(t-CO2)以下にする（15年度BM対94%） 改善量：原油換算119.9k l 以上（15年度BM対4.9%） (2) 廃棄物排出量を219,990 kg以下にする（15年度BM対 97%以下） 改善量：6,500kg以上（15年度BM対3%） (3) 廃水処理充実で着色度 30以下を維持する (4) 人材育成研修を24人実施する (5) 社会貢献活動を 38回実施する (6) 物流に係わるエネルギーを4.4k l削減する
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（CO2） ・染色レシピ短縮改善（昇温速度、キープ時間改善） ・SAS乾燥機の充填率アップにより生産効率向上 ・低温廃水の熱エネルギー活用改善 など合計23件 廃棄物低減活動 ・糸管の残糸処理に伴う有価物化の処理 ・柔軟剤の通り箱化 ・CAM型入れ歩留まり改善 ・成型生成搬送段ボールの有価物化 など計画合計 14件
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（CO2） ・染色レシピ短縮改善（昇温速度、キープ時間改善） ・SAS乾燥機の充填率アップにより生産効率向上 ・低温廃水の熱エネルギー活用改善 など合計23件実施済み 廃棄物低減活動 ・糸管の残糸処理に伴う有価物化の処理 ・柔軟剤の通り箱化 ・CAM型入れ歩留まり改善 ・成型生成搬送段ボールの有価物化 など計画合計 14件
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取組が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。 平成29年度は、現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、30年度も同一システムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。